

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	大規模災害被災地等支援事業			事業番号	002-006
担当部署名	危機管理室	局	危機管理室	部	危機管理 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上
		有	取組の方向性	①危機対応力の強化			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(山)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.5,11.b	
		有	取組	「自助」「共助」「公助」の役割分担に基づく災害対策の推進			
	寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画				
3	事業開始年度	平成 23 年度	点検年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	災害救助法、原発避難者特例法			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	東日本大震災の被災者、支援活動を実施する市民（128名） 被災地に派遣されている職員（1名） いずれも令和3年4月1日現在			
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市内避難者の安全・安心な生活支援 被災地派遣職員の活動支援			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<ul style="list-style-type: none"> 市内避難者に対する生活情報や支援情報の提供 堺市から被災地に派遣している職員の後方支援 			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)				
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	市内避難者の安全・安心な生活支援への寄与					
	当該目標を設定した理由	被災県や各種団体の様々な支援情報が掲載されている情報誌による案内を通じ、堺市内において安全・安心な生活を営むことに寄与するため。				
	目標に対する実績	情報提供を通じ、市内避難者の安全・安心に寄与した。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	市内避難者への情報提供回数	回	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			目標値	12	12	12
			実績値	12	11	
	達成率	100%	92%			
当該指標を選定した理由	様々な団体が実施している支援策や会合等について、市内避難者が情報を入手する手段となるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	庁内や、被災県、各種団体の支援情報を毎月市内避難者へ送付することを目標とする					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	大規模災害被災地等支援事業	事業番号	002-006
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度	
	決算	決算	予算	決算	予算	
事業費 (a)	7,898	2,922	5,682	474	2,684	
13 財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 (大規模災害被災地等支援基金)	7,898	2,922	5,682	474	2,684
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
14 人件費 (b)	3,790	3,240	1,640	1,640	1,640	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	11,688	6,162	7,322	2,114	4,324	

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R2	決算				R2	決算		
16	普通旅費 (枠)	R2	決算	232	0	手数料 (枠)	R2	決算	4	0
		R3	予算	1,807	0		R3	予算	50	0
	通信運搬費 (枠)	R2	決算	154	0	自動車借上料 (枠)	R2	決算	0	0
		R3	予算	309	0		R3	予算	168	0
	物品等修繕料 (枠)	R2	決算	62	0	有料道路通行料 (枠)	R2	決算	0	0
		R3	予算	141	0		R3	予算	20	0
	火災保険料 (枠)	R2	決算	24	0	燃料費 (枠)	R2	決算	0	0
		R3	予算	14	0		R3	予算	40	0
	災害用備品購入費 (枠)	R2	決算	22	0	消耗品費 (枠)	R2	決算	0	0
		R3	予算	120	0		R3	予算	15	0

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		12	11
① 市内避難者への情報提供	回		
② 上記①にかかる年間経費	千円	146	154
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	12,167	14,000
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	東日本大震災による堺市への全ての避難者に対し、避難元自治体の支援情報や被災地の復興状況に係る資料、支援団体からの資料等について、堺市が毎月集約し纏めて送付することにより、低廉な費用で効率的かつ効果的な情報提供を行うことにより、被災者の精神的な安定と被災地の復興に間接的に貢献することができ十分な費用対効果が得られている。
----	--

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	東日本大震災からの堺市内居住避難者に対して、支援団体等の情報を定期的に提供することで、被災地の復興状況や新たな支援策などの最新情報を提供することができた。 この取り組みを通じ、被災者の心の安定と安心した生活の確保、間接的ではあるが被災地・被災者の復興を支える取り組みとして寄与することができた。 また、令和2年7月豪雨では被災地である人吉市へ、迅速に被災地のニーズに応じた支援物資の提供を行い、被災地の早期復興に寄与することができた。
----	---